

わたしたちのまちの報告書



「わたしたちのまちの報告書」は、市が実施した主な事業をわかりやすくまとめた報告書です。この報告書には、令和4年度に市が実施した事業から、特にPRしたい事業をピックアップし、事業概要を写真とともに掲載しています。

市循環バスは、もともと市内公共施設を中心に巡るバスとして運行してきましたが、市民ニーズやアンケート調査結果などを踏まえ、より生活に密着した利便性の高い公共交通をめぐし、令和5年2月から、市循環バスルートの一部変更するとともに、新たな制度などを導入しました。



「ピックアップ」 市域を越えたコミュニティバス運行

市循環バスルート変更事業——決算額2300万円

乗り継ぎ券見本

福祉センター前で 発券	市役所と 福祉センター前	のりつぎ券	23.02.01
		西 A	10:16
		大阪狭山市循環バス	

バスルートの変更について、具体的には、現行の西・北回りを新たに「西回り」「北回り」に分割し、「西回り」は北野田駅前、「北回り」は、黒山警察署にも近い堺市美原区役所前へ接続するもので、市域を越えたコミュニティバスの運行は先進事例となりました。

また、新たな制度として、「市役所」と「福祉センター前」の停留所で乗り継ぎ券を発券し、ほかのルートへの乗り継ぎが追加料金なしで可能となる「乗り継ぎ制度」や、どのバス停から何回乗車しても1日300円で市循環バスが一日中利用できる「さやりん1dayバス」の導入、さらには、大阪府内で運行するコミュニティバスとしては初めて、環境負荷の低減をめざした電気バスを導入しました。

新たなバスルートを生かして、まちの魅力の再発見や生活スタイルに合わせた利用、運転免許証返納後の交通手段として、市循環バスをさらに活用してください。

